

北陸新幹線の早期全線建設についての緊急提言

北陸新幹線は、関西圏が東京一極集中を打破し、関西復権を図り、より一層の活性化を図る上で重要な社会基盤であり、大阪までの早期の全線建設が必要不可欠である。

また、近年、全国各地で豪雨被害や地震が頻発するなど、今後も東海地震や東南海・南海地震などの大規模地震の発生が危惧される中、北陸新幹線は災害などで東海道新幹線が機能停止した場合の関西圏と関東圏を結ぶ代替補完機能も有する、太平洋側・日本海側の双方に必要な国家プロジェクトであり、東京・大阪間の全線が整備されてはじめて機能が完全に発揮される路線である。

については、大阪までの全線整備が一日も早く実現されるよう、平成20年12月の整備新幹線に係る政府・与党ワーキンググループにおける合意に基づき、認可についての検討を急ぎ、新幹線整備促進のため国および関係機関に以下の事項の実現を強く提言する。

- 1 「白山総合車両基地・福井間および敦賀駅部」について、年内のできるだけ早い時期に認可を決定すること。
- 2 「福井・敦賀間」について、敦賀駅部の整備を踏まえ、早期に整備方針を明確に示すこと。
- 3 大阪までの整備方針の明確化を図ること。

平成21年6月2日

近畿ブロック知事会

福井県知事	西川 一誠
三重県知事	野呂 昭彦
滋賀県知事	嘉田由紀子
京都府知事	山田 啓二
大阪府知事	橋下 徹
兵庫県知事	井戸 敏三
奈良県知事	荒井 正吾
和歌山県知事	仁坂 吉伸
徳島県知事	飯泉 嘉門
鳥取県知事	平井 伸治